

令和元年度事業「西川町議会事務事業評価シート」
議会による事務事業評価（西川町議会）

	予算科目	事業名
1	9款1項4目（災害対策費） 100-1-1	災害対策事務に要する経費

1 項目別評価

評価項目	評価点	意見等
1 必要性 ・町民にとって必要な事業か ・社会情勢からみて実施が適切か ・町が主体となって関与すべき事業か	24	災害発生に対する備えは常日頃から万全の体制を整備する必要がある。 町民の安全・安心を守るためには連絡体制の整備は是非とも必要な対策である。 近年多発する異常気象等による災害の発生状況をみると必要性は高い。
2 妥当性 ・他事業とサービスが重なっていないか ・他自治体と比べサービスの対象、内容は適切か ・町民目線として適切か	20	町民の安全・安心を守る対策は町が積極的に図るべきである。 事業内容が防災行政無線の保守点検委託料が大きくなっているが、災害対策に関する各種事業展開を図るべき。
3 効率性 ・事業の手法は効率が良いか ・コスト削減の余地はないか ・受益者負担は適正か	17	同報系防災行政無線の整備において、戸別受信機を設置したことは降雪期にも聞き取りやすく評価される。戸別受信機の管理方法を町民に教える必要あり。 防災行政無線の災害時における最大限の活用方法を検討、改善し、より効率性の良いものにすることが必要である。地域別情報伝達の検討など。
4 成果 ・事業の目的が達成されているか ・前年以前と比較し成果は上がっているか	20	防災行政無線の整備により、災害時、通常時とも町民に対する情報伝達方法が増え、スムーズに行われるようになった。 自主防災組織が全地区に設置され、町民の災害に対する意識が醸成された。

2 全体評価

評価	評価基準	合計評価点
2	1 きわめて良好である 100点	81
	② 良好である 75～99点	
	3 おおむね適正である 50～74点	
	4 問題がある 25～49点	
	5 かなり問題がある 1～24点	
	6 不適正である 0点	

3 今後の方向性

評価	評価基準	判定理由
3	1 拡充する	同報系防災行政無線は、通常時と非常時における活用方法を検討し、改善するものは改善しながら有効活用すること。
	2 現状のまま維持する	
	③ 改善し継続する	災害時における行政と自主防災組織との連絡体制、連携を綿密にしていくことが必要。 保守点検等の維持経費が大きく、今後は最小限の経費での設備管理を心がけるべき。
	4 見直しのうえ縮小する	
	5 期間設定し終了	
	6 廃止する	

4 評価に係る意見等

事業の総合評価に関する主な意見、特記事項及び今後の方向性の理由等
同報系防災行政無線が導入されて町民にも認知度が高まっている。更なる有効活用を図ってもらいたい。また、自主防災組織は全地区に設置されたが、その内容についてはまだまだであり、行政としてどう指導していくのか、連携や支援はどう構築していくのか対応していく必要がある。 新型コロナウイルス感染症禍での災害避難体制の検討が必要。